会社概要

（2021年6月30日現在）

- 社　　名　株式会社C&Gシステムズ（C&G SYSTEMS INC.）
- 設　　立　2007年7月2日
- 資 本 金　5億円
- 従業員数　242名（連結）
- 本社所在地　（東京）〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー19F
  （北九州）〒806-0067 福岡県北九州市八幡西区引野一丁目5番15号
- 電話番号　03-6864-0777（代表）
- 事業内容　金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート
- 主な拠点（国内）　東京支店、大宮支店、名古屋支店、大阪支店、九州支店
  （テクニカルセンター）　インドネシアテクニカルセンター
  （海外子会社）　CGS ASIA CO., LTD.（タイ）
  CGS NORTH AMERICA INC.（CANADA）（カナダ）
  Tritech International, LLC（アメリカ）
  （海外代理店）　IGPNET社（韓国）
  Shanghai C.J System Technology社（中国）
  Createwell社（台湾）

株主メモ

- 事業年度　毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会　毎年3月開催
- 基準日　定時株主総会　毎年12月31日
  期末配当金　毎年12月31日
  中間配当金　毎年6月30日
  そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関　東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所　東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
  （郵便物送付先）　〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
  （電話照会先）　0120-782-031
- 公告方法　電子公告（https://www.cgsys.co.jp/）ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数　100株
- 上場証券取引所　東京証券取引所 市場第二部

C&Gシステムズ IRサイトのご紹介

2021年1月1日リニューアル！

当社への理解をより深めていただくため最新IR情報を掲載したIRサイトをご活用下さい。

IRメールニュース配信

IR関連情報を掲載した「CGS IR MAIL NEWS」を配信しております。メールアドレスご登録はCGSのIRサイトから！

個人投資家の皆さまへ

当社の事業内容、強み、業績等、当社の情報をまとめ、分かりやすくご紹介しております。

https://www.cgsys.co.jp/ir/

決算説明会動画

株主の皆さまに広く当社の決算概要をご理解いただくため、社長の塩田による決算説明会動画を掲載しております。

会社紹介ムービー

当社で働く社員の様子、ユーザー様のインタビューを交えた、当社の会社紹介ムービーをご覧いただくことができます。

C&G SYSTEMS INC.

15th Interim Business Report

第15期第2四半期 株主通信
2021年1月1日～2021年6月30日

CREATIVE & GLOBAL & SOLUTION

世界を築く、創造のソリューション。

株式会社C&Gシステムズ
証券コード：6633

株主の皆さまへ

To Our Shareholders

株主の皆さまには、いつも変わらぬご支援を賜り誠にありがとうございます。2021年12月期第２四半期の営業概況について、ご報告申し上げます。

2021年12月期第２四半期の業績は？

金型製造事業の売上減が響き売上高△2.6%も
CAD/CAMシステム等事業が堅調に推移し
営業利益＋36.3%の減収増益

当第２四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は売上高が19億25百万円、営業利益が１億91百万円の減収増益となりました。金型製造事業の2020年下期の受注状況が低調に推移したことによる売上減が影響し減収となりましたが、利益面ではCAD/CAMシステム等事業の堅調な推移により、予想を大きく上回る結果となりました。

（1）CAD/CAMシステム等事業

国内では一部地域に緊急事態宣言が再発令されるなど先行き不透明な状況が継続しましたが、新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」）の影響により長く続いていた設備投資を抑制する動きには持ち直しの傾向が見られ、主力製品の販売が堅調に推移したほか、OEM関連売上も収益に貢献しました。保守売上においては、テレワーク下であっても製品バージョンアップおよび技術サポートの定期的な提供を従前どおり実施したことにより、高い保守更新率を維持しました。

海外では、景況感が回復し設備投資の需要が増加した中国および韓国で製品販売が堅調に推移、またASEAN地域ではコロナの抑え込みに成功し経済成長が続くベトナムにおいて半導体関連および自動車関連の需要が好調に推移し売上が伸長しました。

（2）金型製造事業

金型製造事業では、2020年下期の受注状況が低調であったことから、前年同四半期連結累計期間との比較では大幅な減収減益となりました。なお本年度下期以降もコロナの物流への影響および外注費増加等も懸念され依然先行き不透明な状況ですが、足元の受注動向は概ね良好であり、現時点では堅調に推移するものと見込んでおります。

2021年下期の動向は？

通期連結業績予想は据え置き
下期採択の製造業向け政府補助金案件受注に注力

CAD/CAMシステム等事業においては、国内製造業はさらなる回復が見込まれているものの、政府補助金採択時期の設備投資への影響に加え、コロナの再拡大、国内外における半導体不足の影響等も懸念され、当社の対象市場において先行き不透明感が拭えない状況が継続していることから、通期連結業績予想数値は据え置きとさせていただきました。下期においては、政府補助金案件を確実に収益につなげるとともに、今後の事業領域拡大を見据えて投入開始している製品の販売を強化していきます。また海外販売については各国の状況を勘案しながら、引き続きオンラインツールを活用したコミュニケーション強化による営業活動を展開していきます。

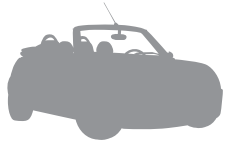
今後も世界のモノづくり分野において、「グローバル・ニッチ・トップ」を目指し、顧客満足度向上、ひいては企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社へのご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年９月吉日

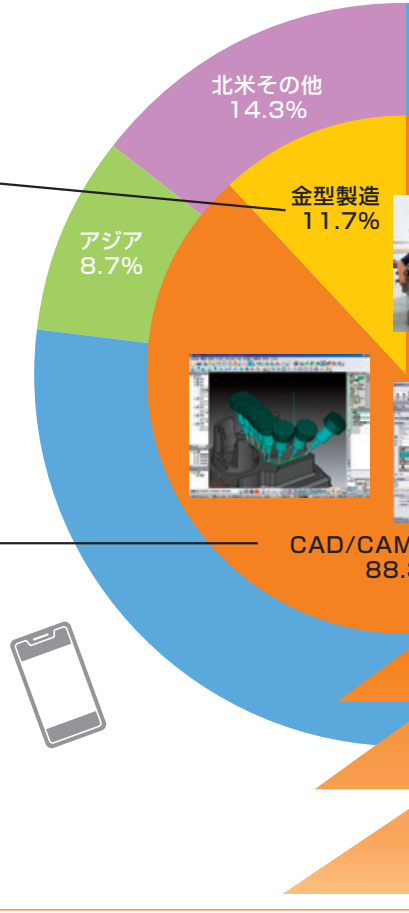
代表取締役社長
塩田 聖一

仕向地別セグメントの概況

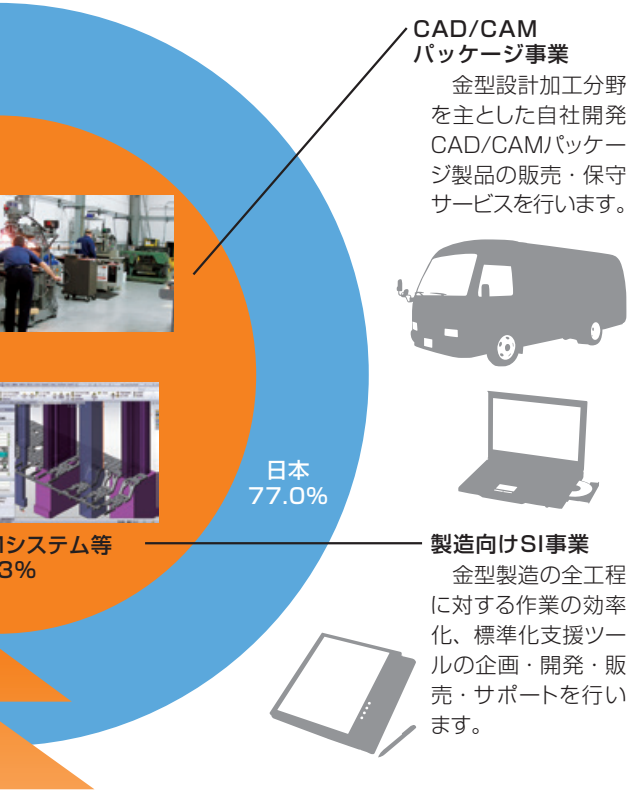


金型製造事業
北米を拠点に、自動車部品等の元となる金型製造の請負、および関連設備の販売・輸出入を行います。

OEM事業
金型関連市場、隣接市場等に対し、既存のコア技術を戦略的に提供することで新規ビジネスの創出を図ります。



CAD/CAMシステ



CAD/CAM パッケージ事業

金型設計加工分野を主とした自社開発CAD/CAMパッケージ製品の販売・保守サービスを行います。

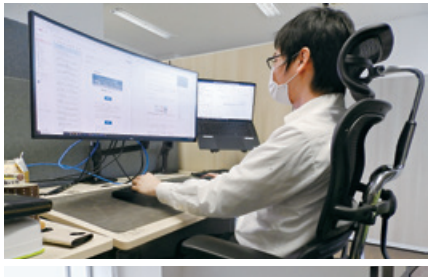
製造向けSI事業

金型製造の全工程に対する作業の効率化、標準化支援ツールの企画・開発・販売・サポートを行います。

ム等事業　主力製品

研究開発部門発足、北九州で活動開始

北九州学研都市　技術開発交流センター



快適な開発環境を整備し最新技術の応用研究を進めます

当社では2021年１月１日付で、製造業における先進デジタル技術の応用研究を目的としたソフトウェア研究開発部門として「研究開発部」を新設しました。

現在、国内の製造業ではAIやIoTなどを活用したデジタル化が進み、スマートファクトリーを実現する最新鋭の工作機械および生産設備など、自動化・省力化へのニーズは大きな広がりを見せております。

このような状況下、当社はこの研究開発部を通じ、AIや形状処理、自動化などをテーマとした最新技術の応用研究を通じた新たな独自技術の開発を進め、製造業のデジタル化需要にスピード感をもって対応することでモノづくり市場全体のさらなる生産性向上に寄与してまいります。

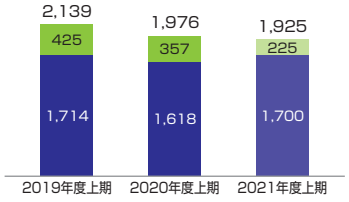
新たに発足した研究開発部は北九州本社内に新設した後、現在、カーエレクトロニクスおよびMEMS分野等、産学連携による新たな技術開発プロジェクトに対応する北九州学研都市内の施設である「技術開発交流センター」に場所を移し、若手技術者を中心に５名体制で活動を開始しております。当社の事業領域に関連する研究および独自技術に関する基礎研究ならびに応用研究を推進していくことをミッションとしており、将来的には新たな収益の柱となりうる技術を確立できるよう研究を進めてまいります。

CGSでは既存事業をコアに、
「量産市場、金型内製市場、アジアを主としたグローバル展開」
「技術の深耕によるIoT分野等への市場拡大」「新規事業の創出」等に取り組み、
世界のモノづくりに貢献する製品を創出しております。

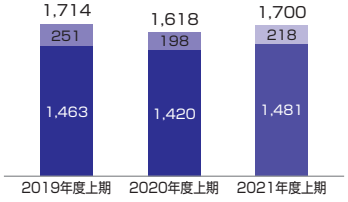
2021年度上期決算ハイライト　Financial Highlights of First half of 2021

売上高

（単位：百万円）

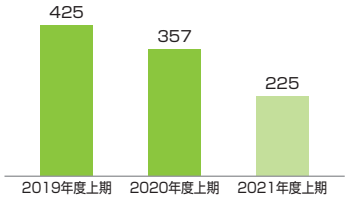


CAD/CAMシステム等事業 売上高



金型製造事業 売上高

（単位：百万円）



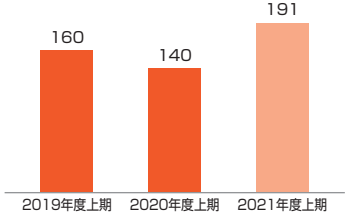
売上面

CAD/CAMシステム等事業の売上高は、前年同四半期比で5.1%増加しました。コロナの影響により長く続いていた設備投資を抑制する動きには持ち直しの傾向が見られ、OEM関連を含めた主力製品の販売が堅調に推移しました。海外では景況感が回復し設備投資需要が増加した中国および韓国、半導体関連および自動車関連の需要が好調に推移したベトナムにおいて売上が伸長しました。

金型製造事業の売上高は、前年同四半期比で37.1%減少しました。コロナの影響により2020年下期の受注状況が低調に推移したことが影響しました。

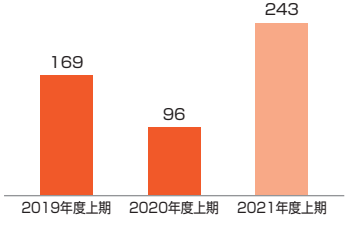
営業利益

（単位：百万円）



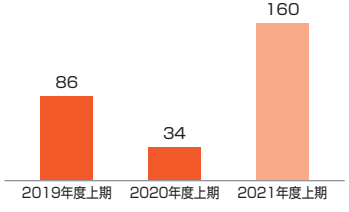
経常利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する四半期純利益

（単位：百万円）



利益面

CAD/CAMシステム等事業の増収に加え、イベントのオンライン化および一部営業訪問の制限継続等により販管費が抑制されたことから、営業利益は前年同四半期比＋36.3%、経常利益＋152.6%、親会社株主に帰属する四半期純利益＋363.4%と、前年同期を大きく上回りました。なお経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期に計上した投資有価証券評価損が当第２四半期は計上されなかったことから、営業利益よりも利益の増加割合がさらに大きくなりました。

通期の見通し

（単位：百万円）

	2020年度通期	2021年度通期予想	増減額	増減率
売上高	3,684	3,757	＋72	＋2.0%
営業利益	192	193	＋1	＋0.8%
経常利益	155	217	＋62	＋40.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	60	119	＋59	＋98.3%

第２四半期時点において、営業利益は通期予想数値に近い状況、また経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は通期予想を超えて推移しておりますが、下期以降も政府補助金の採択動向およびコロナ感染状況等、先行き不透明な状況が継続していることから、通期連結業績予想数値は変更せず据え置くことといたしました。

会社概要

役員の状況

（2021年6月30日現在）

代表取締役会長	山口　修司
代表取締役社長	塩田　聖一
常務取締役	伴野　裕之
取締役	寺﨑　和彦
取締役	春日　勝人
取締役	小島　利幸
監査等委員	佐藤　淳
監査等委員（社外取締役）	山田　英雄
監査等委員（社外取締役）	橋本　光

株式情報

（2021年6月30日現在）

株式の状況

発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	9,801,549株
株主数	3,844名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社山口クリエイト	1,672,190	17.06
日本生命保険相互会社	459,740	4.69
光通信株式会社	322,900	3.29
山口修司	293,169	2.99
C&Gシステムズ従業員持株会	225,569	2.30
リズム株式会社	210,100	2.14
自己株式	200,182	2.04
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	189,500	1.93
株式会社ナガワ	121,200	1.23
小栗恵一	120,100	1.22

株式分布状況

株式分布状況（株主数別）

個人・その他	3,746名	97.45%
金融機関	6名	0.15%
その他国内法人	29名	0.75%
外国人	38名	0.98%
証券会社	24名	0.62%
自己名義株式	1名	0.02%

株式分布状況（株式数別）

個人・その他	5,333,839株	54.41%
金融機関	791,640株	8.07%
その他国内法人	2,628,429株	26.81%
外国人	503,932株	5.14%
証券会社	343,527株	3.50%
自己名義株式	200,182株	2.04%